

一九五三（昭和二八） 五〇歳

一九五五（昭和三〇） 五二歳

一九五七（昭和三二） 五四歳

一九五八（昭和三三） 五五歳

一九五九（昭和三四） 五六歳

一九六〇（昭和三五） 五七歳

一九六一（昭和三六） 五八歳

一九六二（昭和三七） 五九歳

一九六三（昭和三八） 六〇歳

一九六五（昭和四〇） 六二歳

一九六六（昭和四一） 六三歳

一九六八（昭和四三） 六五歳

一九七一（昭和四六） 六八歳

一九七三（昭和四八） 七〇歳

財団法人佐々木研究所所長。「吉田肉腫の病理学的研究」で学士院恩賜賞受賞（第一回）。

母・ナヲ死去。マウス白血病（SN36）発見。

第四期日本学術会議会員。翻訳

「ウィルヒョウ・細胞病理学」単行本刊行。

東京大学医学部長・同大学伝染病研究所

教授併任。鉄門会頭。

第一八回日本癌学会会長。科学技術会議

専門委員。文化勲章受章。

第五期日本学術会議会員第七部長。

第五〇回日本病理学会会長。ペルシア大

学（イタリヤ）より名誉学位を授与。

医療制度に関する吉田メモ発表。国語審

議会委員。吉田肉腫移植一〇〇〇代記念

講演（長崎大学）。第一回日米科学協力委

員会（東京）。

第二回日米科学協力委員会（米国）でケ

ネアイ大統領と懇談。第九回国際癌会議

組織委員会委員長。

財団法人癌研究会研究所長。第八期日本学

術会議会員副会長。国語審議会委員再任。

東京大学名誉教授。日本医学協会会長。国

語審議会で前期・吉田提案「漢字仮名まじ

り文を正則とすること」が事実上確認させ

る。故郷浅川町より名誉町民の称号授与。

第九回国際癌会議（東京）会長。

日本ユネスコ国内委員会副会長。

第一八回日本医学会総会で特別講演（癌

の成長）。

四月二七日逝去。勲一等旭日大綬章を授

与された。